



令和3年度 兵庫県立大学 生涯学習公開講座

【人のからだ・いのちの不思議 ～赤ちゃんの看護を体験しよう～】

日時：2021年（令和3年）8月3日（火）13時30分～15時30分

受講者数：小学4年生から中学生2年生 15名

会場：兵庫県立大学 明石看護キャンパス（実習室・講義室）

講師：看護学部教員 能町しのぶ、大村佳代子

○テーマ・概要

人のからだにはたくさんの不思議があり、赤ちゃんの小さなからだにも、生きる力が備わっています。本講座では、人のからだ、いのちを見る看護師の仕事について紹介します。そして、生まれた時のいのちを感じながら、赤ちゃんのオムツ交換や沐浴（お風呂）などのお世話体験をし、かけがえのないいのちを大切にする看護について一緒に考えていきます。

○内容

昨年度は開催が叶いませんでしたが、今年度は感染対策を行ったうえで、公開講座を実施することができ、小学生から中学生の15名が参加しました。

今回は赤ちゃんの看護体験として、3kgあるリアルな新生児モデルを用いて、赤ちゃんの身長や頭囲、胸囲などの計測や心音の聴取、オムツ交換、沐浴（お風呂）といったお世話を体験してもらいました。参加者の中には、初めて赤ちゃんを抱っこした方もいらっしゃいましたが、皆さんが目を輝かせながら、とても上手に看護されていました。また、参加された保護者の中には、ご自身のお子さんが生まれた時のご経験を感慨深く語って下さった方もいらっしゃいました。

教員はもちろん、看護学部で学んでいる学生ボランティアスタッフとも交流し、聴診器で赤ちゃんの心音を聴いたときは「なぜ赤ちゃんの心音は早いのですか？」と質問があるなど、楽しく熱心に学んでいました。

アンケートでは、「赤ちゃんが思ったより重く、沐浴が難しかった」「本当の赤ちゃんは首もすわってないし動いたりするからもっと大変だと思う」といった感想や、お母さんのお腹にいるときの様子や赤ちゃんの体重の増え方、また看護師・助産師の仕事をもっと知りたいといった希望もありました。

